

会計名			排水機場改修事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	工務係	
8	3	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	都市環境					
			基本施策	河川・池沼					
			施策の内容	治水・雨水対策					
	目的		市街地用排水機場の機械設備等を改修し、長寿命化を図り、安定した排水能力を保持することにより、浸水被害を未然に防ぎ、市民の生命・財産を守る。		主たる内容		排水機場のポンプ、モーターの分解整備工事等を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・浜田第1排水機場 5号ポンプ分解整備 1基 5号除塵機分解整備 1機		・浜田第1排水機場 1号ポンプ分解整備 1基 6号除塵機分解整備 1機		・浜田第1排水機場 6号ポンプ分解整備 1基 1号除塵機分解整備 1機 ・北浦排水機場・高松排水機場 水中ポンプ分解整備 各1基 ・湯揚排水機・小垣江排水機場 水中ポンプ取替え 各1基		・北浦排水機場 ポンプ操作盤等更新 1式 ・弁天第2排水機場 3号ポンプ分解整備 1基	
成果 (できたこと)		浜田第1排水機場について、ポンプ設備及び除塵機のオーバーホール、また、北浦排水機場他3機場についても、水中ポンプの取替えやオーバーホールを実施したことにより、非常時においても万全の状態でご各設備が機能できるようになった。							
課題 (できなかったこと)		整備計画に沿って執行できているが、今後も市内に13箇所ある市街地用排水機場のポンプ、モーター等の現状を見極めながら、計画的かつ効率的にオーバーホールなどの整備を実施していく必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標		改修ポンプ数(基)		1	1	5	1	2	
指標									
他市との 比較検証		「排水機場維持管理計画」に基づき、近隣市と同等の経過年数15年を目処に実施している。							
C 事業コスト V		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		61,415	38,220	135,018	102,500	合計	135,018,450 円	
	財 源	特定財源	36,901	35,267	49,807	52,518	委託料	2,415,000 円	
		一般財源	24,514	2,953	85,211	49,982	工事請負費	132,603,450 円	
	職員人件費 ②		2,512	1,768	1,403	2,638			
	総事業費(①+②)		63,927	39,988	136,421	105,138			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
		25年度迄の累積事業費		0		市町村振興協会基金交付金			
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			排水機場改修事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	本市の河川沿線は雨水の自然排水が困難な地域(低地)が多いため、雨水排水を目的とした排水機場が不可欠である。そのため、排水機場は常に万全な状態に整備しておく必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	排水機場の新設・更新には、用地の確保も含め相当の時間と費用がかかる。必要最小限の改修により機能を確保することで、コストの節減と長寿命化を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	排水機場という施設の特殊性を考えると、市が主体となって実施すべきである。総合計画に、既成市街地の浸水被害を防ぐため、排水機能の向上を図ることが目的として掲げられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	総合計画との整合性から、市民の生命・財産を浸水被害から守るべく排水機能向上に寄与する事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
短期的には、ポンプ等の機器及び施設の耐用年数は経過しておらず、ポンプ等のオーバーホールによる改修で機能の確保と長寿命化を図ることができるが、中長期的には、耐用年数を経過したポンプ等機器の取替及び施設の更新を図る必要がある。					

会計名			雨水貯留浸透事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	計画係		
8	3	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	河川・池沼							
		施策の内容	治水・雨水対策							
	目的	雨水貯留浸透施設の整備を促進し、浸水被害の解消と河川への雨水流出量の軽減を図る。		主たる内容	雨水貯留浸透施設（調整池・ため池・公園地下貯留施設など）の整備を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市雨水総合対策整備計画							
			根拠法令	河川法、特定都市河川浸水被害対策法						
		対象者	市民	事業期間	平成15年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		・県の防災ダム事業が実施されなかったため負担金の実績なし		・計画審査資料修正業務委託の実施		・雨水貯留事業（防災ダム事業）負担金		・水害対策マスタープラン策定 ・子竿調整池設計、整備  ※負担金は「防災ダム事業」に移行		
成果 (できたこと)		防災ダム事業（洲原池地区）について、堤防補強及び洪水調節機能の整備を県営事業の工事発注ができ、工事進捗にあわせた水質浄化のための「池もみ」を実施することで地元合意を得ることができた。								
課題 (できなかったこと)		岩ヶ池地区については、農業関係者より、ため池の水質改善を強く求められ、改善策を検討し事業採択に向けて調整をする必要がある。 ため池の雨水貯留能力は、総合治水対策に有効であるため、ゲリラ豪雨などの洪水対策として早急に進める必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度			
活動 指標		総合治水対策量の達成度（％）		35.9	35.9	35.9	35.9	50.0		
指標										
他市との 比較検証		刈谷市では、境川流域総合治水対策策定以前の区画整理事業による開発地が市街地の大半を占め、流域整備計画における必要対策量が大きく達成が困難である。今後は、対策量が大きい洲原池・岩ヶ池及び草野池の県営による防災ダム事業の早期の着手に努める必要がある。								
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	1,995	7,732	57,100	合計 7,732,496 円			
	財源	特定財源	0	0	0	10,000	委託料 472,500 円			
		一般財源	0	1,995	7,732	47,100	負担金、補助及び 交付金 7,259,996 円			
	職員人件費 ②		0	1,486	2,805	11,358				
	総事業費 (①+②)		0	3,481	10,537	68,458				
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0								
27年度以降の事業費見込		0								

会計名			担当部	建設部		
一般会計			担当課	雨水対策課		
款	項	目	担当係	計画係		
8	3	2				
C H E D C K 内部評価			雨水貯留浸透事業			
			各視点からの評価		評価の理由	
			必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	刈谷市北部のため池は境川及び逢妻川流域内に位置しており、特定都市河川浸水被害対策法に基づく、貯留施設整備は、法的に位置づけられた整備であり、必要性は非常に高い事業であります。
			効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	高い	県営防災ダム事業は、農業用ため池の堤防を補強し、震災時の破堤による浸水被害を予防するものであることに合わせ、洪水調節機能を付加するため、市の貯留目標量を他事行で推進することができるため、事業を効率的に進めることができます。
			妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	高い	流域の最下流に位置する刈谷市の地形特性から、市が積極的に事業を推進することで、市民の安全と財産を守ることのできる事業であるため、妥当性の高い事業であります。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	総合治水対策として、雨水貯留目標を達成するため、既存ストックであるため池を利用することで、同時に耐震対策を実施できることとなるため、地域への貢献度は高くなります。			
今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
洲原池の工事着手に向け地元調整中であり、今後は、防災ダム事業として新規事業を立上げ、北部の大規模ため池である岩ヶ池、草野池について、県営事業として、事業採択が行われるよう、地元協議を綿密に行っていく また、貯留施設整備の計画について、水害対策マスタープランの策定を行い、計画的な治水対策を進める。						
V						

会計名			準用河川草野川改修事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	工務係		
8	3	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	河川・池沼							
		施策の内容	河川の改修							
	目的	流域内の宅地化が進み雨水流出量が増加したため、河川改修を行い浸水被害の解消を図るとともに、魚類・昆虫類などの自然とのふれあいを可能とする河川空間を創造する。			主たる内容	河川延長 504m 河川改修延長 504m 流域面積 A=217ha				
	位置づけ	関連計画	刈谷市雨水総合対策整備計画							
			根拠法令	河川法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成13年度 ~ 平成31年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		_____		_____		・河川改修工事 工事延長 40m 護岸工 80m ・洪水調整基本計画修正業務委託 1式		・詳細設計業務委託 1式		
成果 (できたこと)		改修計画に基づき、河川改修を実施できた。また、平成24年の境川の逆流による浸水被害を受けて、基本計画の見直しを行った。								
課題 (できなかったこと)										
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標		河川改修率(%)			35.7	35.7	43.7	43.7	65	
指標										
他市との 比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	69,666	19,000	合計 69,666,450 円			
	財 源	特定財源	0	0	20,000	0	委託料 5,985,000 円			
		一般財源	0	0	49,666	19,000	工事請負費 63,681,450 円			
	職員人件費 ②		0	0	2,104	2,272				
	総事業費(①+②)		0	0	71,770	21,272				
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		1,775,290		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		706,970		準用河川改修事業費補助金(県)						
27年度以降の事業費見込		1,049,320								

会計名			準用河川草野川改修事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
8	3	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	浸水被害解消のため、刈谷市雨水総合対策整備計画に基づき河川改修を実施する必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	洪水調整基本計画の見直しを行い、経済性を考慮した改修計画を策定している。また、工事実施にあたっては、コストの節減を図った設計を行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	準用河川草野川の管理者は刈谷市であることから、刈谷市で実施することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	浸水被害の解消を図ることにより、市民の安心安全に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
草野池の農業用利水関係者や、今後、工事区間が重複する県道名古屋岡崎線の事業主体の愛知県と調整を図りながら、今回の改修計画に基づき、事業の進捗を図る。					

会計名			雨量観測システム更新事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	工務係	
9	1	4							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防災						
		施策の内容	防災体制の充実						
	目的	市内3箇所（北部市民センター、小垣江市民センター、消防署）で観測している雨量情報等をホームページで公開することにより、市民の防災に関する情報として役立ててもらう。	主たる内容	○雨量観測システム開発委託 ○雨量計等更新					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民	事業期間	平成25年度 ~ 平成25年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
						・雨量観測システム開発 1式 ・雨量計設置 2箇所 ・電送装置設置 3箇所		・雨量観測システム改良 1式 ・雨量計設置 2箇所 ・電送装置設置 2箇所  ※「雨量観測システム整備事業」にて実施	
成果 (できたこと)		市職員向けに公開していた降雨量及び気象情報を市民向けにホームページ等で公開した。併せて、愛知県が刈谷市内で観測している降雨量情報や河川の水位情報へのリンク、注意報、警報発令情報、及び刈谷市観測点付近の気象予測等も掲載することにより、市民向けの防災気象情報としてより活用できるようにした。							
課題 (できなかったこと)		愛知県の観測点を併せても、降雨量の観測箇所の配置に偏りがある。過去浸水地域付近への雨量計の設置が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標		市が公表する雨量情報の観測地点累計（箇所）		—	—	3	5	—	
指標									
他市との比較検証		近隣自治体では、岡崎市、豊田市がホームページで降雨量情報を公開している。							
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,995	0	合計	1,994,505 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	117,609 円	
		一般財源	0	0	1,995	0	委託料	1,844,325 円	
	職員人件費 ②		0	0	1,403	0	使用料及び賃借料	32,571 円	
	総事業費 (①+②)		0	0	3,398	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							



会計名			雨量観測システム更新事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	工務係
9	1	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	近年、局地的集中豪雨が多発しており、大雨による災害から、市民が自ら守るための対策も重要となってきた。そのための判断材料として、それぞれの地域のリアルタイムの降雨量の情報等が必要となる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	市が提供している降雨量の情報だけでなく、注意報、警報の発令状況などを併せて見ることができる。また、県が観測している降雨量や河川水位の情報など、他機関の防災情報にリンクすることにより、刈谷市内の防災気象情報が一元化して提供できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	刈谷市内に特化した気象情報の提供は、刈谷市で行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	市内の地域ごとの降雨量等の情報を市民に提供することで、防災体制の充実を図る。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
過去に浸水被害等のあった地域で雨量計の設置されていない地域に雨量計を設置し、さらなる詳細な降雨量の情報を公開してしていくとともに、より多くの市民に活用してもらえるようPRを行う。					



会計名			農業用施設等管理事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	施設管理係		
6	1	5								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	農業							
		施策の内容	生産基盤の強化							
	目的	湛水被害を防止するため、農業用排水機場などの施設の維持管理を図り、農業生産性の向上及び安定を図る。			主たる内容	農業用排水機場などの施設を常に安全かつ適正に稼働・運用できるように保守管理業務などを行う。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気・水道・電話料 施設修繕料・火災保険料 排水機場の点検・検査手数料 運転保守管理・清掃・電気保安業務委託料 排水路除草委託料		排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気・水道・電話料 施設修繕料・火災保険料 排水機場の点検・検査手数料 運転保守管理・清掃・電気保安業務委託料 排水路除草委託料		排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気・水道・電話料 施設修繕料・火災保険料 排水機場の点検・検査手数料 運転保守管理・清掃・電気保安業務委託料 排水路除草委託料		排水機場用消耗品の購入 排水ポンプと自家発電機の燃料費 排水機場の電気・水道・電話料 施設修繕料・火災保険料 排水機場の点検・検査手数料 運転保守管理・清掃・電気保安業務委託料 排水路除草委託料		
成果 (できたこと)		計画的に保守点検等を実施し、施設及び機械設備の適正な運用を保持した。								
課題 (できなかったこと)		排水ポンプ・発電機の運転状況により燃料の消費量が増加する。 排水機の高性能化や新設及び近年の降雨量増加に伴う電気使用料等が増加傾向にある。 降雨等の天候状況による、排水機場運転保守管理委嘱者の稼働時間の増加に伴い委託料が増加する可能性がある。 除草委託については、住民等の要望に応じられない状況が増加している。								
指標名称(単位)				実績値		目標値				
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		27,269	29,096	30,250	35,275	合計	30,249,722 円		
	財源	特定財源	11,082	11,779	11,320	11,778	需用費	14,151,117 円		
		一般財源	16,187	17,317	18,930	23,497	役務費	8,789,621 円		
	職員人件費 ②		8,973	8,489	8,416	7,035	委託料	7,210,284 円		
	総事業費 (①+②)		36,242	37,585	38,666	42,310	原材料費	98,700 円		
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0		行政財産目的外使用料 農業用排水機維持管理費補助金						
27年度以降の事業費見込		0		下水道賠償保険金収入						

会計名			農業用施設等補修事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	雨水対策課
款	項	目		担当係	施設管理係
6	1	5			

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興			
		基本施策	農業			
		施策の内容	生産基盤の強化			
	目的	農業用排水機場と農業用排水路の、排水能力と悪臭解消等衛生面の向上及び機能の保持を図る。	主たる内容	農業用排水機場や農業用排水路の浚渫と、農業用排水機場の補修工事や農業用排水路の緊急修繕を行う。		
	位置づけ	関連計画				
		根拠法令				
		対象者	市民	事業期間	～	
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他			

23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
農業用排水路浚渫工事	農業用排水路の浚渫工事	農業用排水路の浚渫工事	農業用排水路の浚渫工事	農業用排水路の浚渫工事	農業用排水路の浚渫工事	農業用排水路の浚渫工事	農業用排水路の浚渫工事
児山地内排水路ほか6排水路	洲原南排水路ほか5排水路	児山地内排水路ほか5排水路	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事
農業用排水機場浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事	農業用排水機場の浚渫工事
井ヶ谷排水機場	井ヶ谷排水機場	井ヶ谷排水機場	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事
農業用排水路修繕	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事	農業用排水路の補修工事
折戸川排水路ほか2排水路	欠ノ上地内排水路ほか2排水路	城前地内排水路ほか2排水路	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕
農業用排水機場補修工事	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕	農業用排水機場の修繕
泉田排水機場ほか7排水機場	井ヶ谷排水機場ほか7排水機場	小山排水機場ほか7排水機場					

D 事業実績	成果 (できたこと)	農業用排水機場及び農業用排水路について、計画的に浚渫工事及び補修工事等を実施し、完了した。
	課題 (できなかったこと)	浚渫について、計画的に執行しているが、本来なら施行すべき区間・箇所・回数を履行できない状況も発生してきている。また、施設の老朽化に伴い補修費が増加する可能性がある。

O 指標	指標名称(単位)	実績値			目標値	
		23年度	24年度	25年度	26年度	28年度
指標						
指標						
他市との比較検証						

単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
事業費 ①		18,892	17,911	17,731	22,000	合計	17,731,350 円
財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	8,921,850 円
	一般財源	18,892	17,911	17,731	22,000	工事請負費	8,809,500 円
職員人件費 ②		6,461	6,720	8,416	5,203		
総事業費 (①+②)		25,353	24,631	26,147	27,203		
建設事業	全体事業費(単位：千円)	0		25年度特定財源名称			
	25年度迄の累積事業費	0					
	27年度以降の事業費見込	0					

会計名		農業用施設維持管理適正化事業				担当部	建設部		
一般会計						担当課	雨水対策課		
款	項					目	担当係	工務係	
6	1					5			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	農業						
		施策の内容	生産基盤の強化						
	目的	農業用排水機場等の機能保持と耐用年数の確保を図る。	主たる内容	土地改良施設維持管理適正化事業の助成制度を活用して、農業用排水機場のポンプ、モーターのオーバーホール等を行う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		前新田（新）排水機場の実設計業務委託 前新田（新）排水機場の排水ポンプのオーバーホールなどの分解整備改修工事 適正化事業拠出金（負担金）		九郎兵衛排水機場、前新田（新）排水機場、中川排水路の実設計業務委託 九郎兵衛排水機場、前新田（新）排水機場の排水ポンプのオーバーホールなどの分解整備改修工事 中川排水路の浚渫工事 適正化事業拠出金（負担金）		弁天排水機場、今川排水機場、前新田（旧）排水機場、の実設計業務委託 弁天排水機場の吐出弁の取替え、今川排水機場、前新田（旧）排水機場の鉛蓄電池の交換などの改修工事 適正化事業拠出金（負担金）		農業用施設整備事業で実施	
成果 (できたこと)		弁天排水機場の吐出弁の取替え、今川排水機場、前新田（旧）排水機場の鉛蓄電池の交換が計画通り実施できた。また、適正化事業拠出金（負担金）の支出も予定どおり実施した。							
課題 (できなかったこと)		計画的かつ予定どおりに執行できているが、今後も、市内に15ある農業用排水機場のポンプ、モーターの状況等を見極めながら、計画的かつ効率的にオーバーホールなどの整備を実施していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標	改修排水機場数（箇所）		1	2	3	3	1		
指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		33,220	52,168	19,890	0	合計	19,889,500 円	
	財 源	特定財源	15,300	32,400	10,800	0	委託料	966,000 円	
		一般財源	17,920	19,768	9,090	0	工事請負費	14,542,500 円	
	職員人件費 ②		2,512	4,244	2,104	0	負担金、補助及び 交付金	4,381,000 円	
	総事業費 (①+②)		35,732	56,412	21,994	0			
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		土地改良施設維持管理適正化 事業費交付金					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			農業用施設整備事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	工務係	
6	1	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	農業						
		施策の内容	生産基盤の強化						
	目的	農業用排水機場を改修し、その機能保持と性能の向上及び耐用年数を確保することにより、浸水被害の解消を図る。			主たる内容	土地改良施設維持管理適正化事業の助成制度を活用して、農業用排水機場のポンプ、モーターのオーバーホール等を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
				高須排水機場 3号ポンプ分解整備 1基		高須排水機場 1号ポンプ分解整備 1基		高須排水機場 2号ポンプ分解整備 1基 (農業用施設維持管理適正化事業より移動) 今川・泉田・前新田(新)排水機場の実施設業務委託 今川排水機場の排水ポンプの分解整備、泉田・前新田(新)排水機場の鉛蓄電池交換などの改修工事	
成果 (できたこと)		高須排水機場について、ポンプ設備のオーバーホールを実施したことにより、非常時においても万全の状態でご設備が機能できるようになった。							
課題 (できなかったこと)		整備計画に沿って執行できているが、今後もポンプ等の現状を見極めながら、計画的かつ効率的にオーバーホールなどの整備を実施していく必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果 指標		改修ポンプ数(基)			—	1	1	1	—
成果 指標		改修排水機場数(箇所)			—	—	—	3	1
他市との 比較検証		近隣市と同等の経過年数15年を目処に実施している。							
C 事業 コスト		単位:千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	3,360	4,200	42,656	合計	4,200,000 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	20,250	工事請負費	4,200,000 円	
		一般財源	0	3,360	4,200	22,406			
	職員人件費 ②		0	1,415	1,403	3,371			
	総事業費(①+②)		0	4,775	5,603	46,027			
	建設 事業	全体事業費(単位:千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名		河川施設等管理事業				担当部	建設部		
一般会計						担当課	雨水対策課		
款	項					目	担当係	施設管理係	
8	3					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	治水・雨水対策						
	目的	浸水被害を防止するため、排水機場などの河川施設の適正な維持管理を図り、市民生活の向上及び安定を図る。			主たる内容	排水機場などの河川施設を安全かつ適正に稼働・運用できるように保守管理業務などを行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場・樋門・くみあげポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理・清掃・電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託		河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場・樋門・くみあげポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理・清掃・電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託		河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場・樋門・くみあげポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理・清掃・電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託		河川愛護活動への報奨費 排水ポンプ、自家発電機、クレーン等の保守管理業務 排水機場・樋門・くみあげポンプ・除塵機の点検業務 河川施設の運転保守管理・清掃・電気保安業務委託 排水ポンプ車の運用委託	
成果 (できたこと)		計画的に保守点検等を実施し完了した。							
課題 (できなかったこと)		排水ポンプ・発電機の運転状況により燃料の消費量が増加する。排水機の高性能化や新設及び近年の降雨量増加に伴う電気使用料等が増加傾向にある。降雨等の天候状況による排水機場運転保守管理委嘱者の稼働時間の増加に伴い委託料が増加する可能性あり。除草委託については、住民等の要望に応じられない状況が増加している。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		52,271	58,519	60,078	72,346	合計	60,077,771 円	
	財源	特定財源	3,975	3,956	3,916	3,762	報償費	915,076 円	
		一般財源	48,296	54,563	56,162	68,584	需用費	13,300,406 円	
	職員人件費 ②		7,896	7,781	8,416	6,668	役務費	19,076,819 円	
	総事業費(①+②)		60,167	66,300	68,494	79,014	委託料	26,781,060 円	
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		行政財産目的外使用料 市町村権限委譲交付金 排水機場維持管理受託収入					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			河川施設等補修事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	施設管理係	
8	3	1							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	河川の改修						
	目的	浸水被害の防止や、市民生活の利便性・安全性の確保を図る。			主たる内容	準用河川や排水路、都市型排水機場の浚渫と、準用河川や排水路の緊急修繕、都市型排水機場・樋門などの補修工事を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 実施V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・準用河川吹戸川ほか3河川の浚渫工事、準用河川野吹川ほか1河川の補修工事 ・荒井町地内排水路ほか11排水路の浚渫工事、江添川排水路ほか7排水路の補修工事 ・浜田第一排水機場の浚渫工事、高松排水機場ほか8排水機場の補修工事		・準用河川御堂添川ほか3河川の浚渫工事、準用河川八角川ほか3河川の補修工事 ・竜ヶ根排水路ほか9排水路の浚渫工事、板倉地内排水路ほか2排水路の補修工事 ・浜田第一排水機場の浚渫工事、北浦排水機場ほか8排水機場の修繕		・準用河川小山川ほか4河川の浚渫工事、準用河川法信川ほか1河川の補修工事 ・丸田排水路ほか11排水路の浚渫工事、丸田町地内排水路ほか8排水路の補修工事 ・高松排水機場ほか1排水機場の浚渫工事、天王排水機場ほか5排水機場の修繕		準用河川の浚渫工事 準用河川の補修工事 排水路の浚渫工事 排水路の補修工事 排水機場の浚渫工事 排水機場の修繕	
成果 (できたこと)		河川施設(準用河川、排水路、排水機場)の浚渫及び補修工事を計画的に実施し完了した。							
課題 (できなかったこと)		浚渫について、計画的に執行しているが、本来なら施行したほうが良いと思われる区間・箇所・回数を十分に履行できない状況も発生してきている。また、施設の老朽化に伴い補修費が増加する可能性がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳	
	事業費①		32,254	29,341	32,313	46,000	合計	32,312,805円	
	財源	特定財源	6,359	6,430	6,890	2,847	需用費	7,470,855円	
		一般財源	25,895	22,911	25,423	43,153	工事請負費	24,841,950円	
	職員人件費②		0	6,720	7,013	5,203			
	総事業費(①+②)		32,254	36,061	39,326	51,203			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		河川占用料					
27年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計			折戸川排水路改修事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	雨水対策課	
8	3	2					担当係	工務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	河川の改修						
	目的	道路横断部の排水路断面の不足により既設水路が損傷しているため、水路断面の拡幅、補修を行い、治水安全度の向上を図る。		主たる内容	道路横断部にボックスカルバートを布設し水路断面を確保するとともに、ボックスカルバート前後の河床の補強を行う。				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市民	事業期間	平成24年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
				測量設計委託		排水路改修工事 工事延長 40m 護床工 25m		排水路改修工事 工事延長 252m 張コンクリート工 252m	
成果 (できたこと)		洗掘された河床をコンクリート、袋詰玉石で補強した。							
課題 (できなかったこと)		平成25年8月に発生した豪雨により折戸川排水路の一部で越水が生じ、護岸法面の土の部分が洗われ侵入防止用のフェンスが倒壊した。道路横断部の水路断面の拡幅を行うことにより、大雨時に拡幅部下流側での流量が増加し、被害の拡大が予想されることから、水路断面拡幅に先立ち、護岸法面の補強が必要である。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標		排水路改修率(%)		—	0	3	87	87	
指標									
他市との 比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	3,780	4,509	11,000	合計	4,508,700 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	4,508,700 円	
		一般財源	0	3,780	4,509	11,000			
	職員人件費 ②		0	1,415	1,052	806			
	総事業費(①+②)		0	5,195	5,561	11,806			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							



会計名			寺裏地内排水路改修事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	工務係	
8	3	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	河川の改修						
	目的	既設排水路に側溝を布設することにより道路幅員と排水勾配を確保する。		主たる内容	排水路改修 工事延長 側溝工	小垣江町 70m 70m			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民		事業期間	平成25年度 ~ 平成25年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		_____		_____		排水路改修工事 工事延長 70m 側溝工 70m		_____	
成果 (できたこと)		既設排水路を道路側溝に入れ替え、側溝蓋を設置することにより、道路幅員と排水路勾配の確保が図れた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果 指標		排水路改修率(%)			—	—	100	—	—
指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	5,756	0	合計	5,755,925 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	5,555,550 円	
		一般財源	0	0	5,756	0	補償、補填及び賠償金	200,375 円	
	職員人件費 ②		0	0	2,104	0			
	総事業費(①+②)		0	0	7,860	0			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		5,555		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		5,555							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			八幡町地内排水路改修事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	工務係	
8	3	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	河川・池沼						
		施策の内容	河川の改修						
	目的	開水路を暗渠化することにより排水施設を整備するとともに、道路幅員を広げる。			主たる内容	排水路改修 八幡町 工事延長 30m ボックスカルバート工 22m			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市民	事業期間	平成25年度 ~ 平成25年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		_____		_____		排水路改修工事 工事延長 30m ボックスカルバート工 22m L型側溝工 25m		_____	
成果 (できたこと)		開水路を暗渠化することにより、道路幅員の拡幅が図れた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果 指標		開水路暗渠化率(%)			—	—	100	—	—
指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	4,181	0	合計	4,181,100 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	4,181,100 円	
		一般財源	0	0	4,181	0			
	職員人件費 ②		0	0	2,104	0			
	総事業費(①+②)		0	0	6,285	0			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		4,182		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		4,182							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			担当部				建設部				
一般会計			担当課				雨水対策課				
款	項	目	担当係				業務係				
8	3	2	雨水貯留浸透施設設置補助事業								
P L A N の 計 画 要 素	総合計画 施策体系	分野					都市環境				
		基本施策					河川・池沼				
		施策の内容					治水・雨水対策				
	目的	大雨等による浸水被害の軽減を図るため、一般家庭でも可能な治水対策として、市内の宅地等に雨水貯留浸透施設を設置する者に補助金を交付する。	主たる内容	定められた額と設置費用の2/3のいずれか低い額を補助する。 補助金の上限は、一団の土地につき20万円まで。 補助対象施設は下記のとおり。 雨水貯留施設（2基まで） 雨水浸透ます 雨水浸透管 雨水浸透側溝 透水性舗装							
V	位置づけ	関連計画	刈谷市雨水総合対策整備計画								
		根拠法令	刈谷市雨水貯留浸透施設設置事業補助金交付要綱								
		対象者	市民、事業者		事業期間	平成16年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
D O の 実 績	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画				
	設置件数 42件 (雨水貯留施設41件、透水性舗装1件) 補助金額 1,242,800円		設置件数 41件 (雨水貯留施設35件、雨水浸透ます1件、透水性舗装5件) 補助金額 1,380,600円		設置件数 30件 (雨水貯留施設28件、雨水浸透ます2件) 補助金額 671,600円		設置件数 50件 予算額1,500,000円				
	成果 (できたこと)	設置されることにより雨水流出抑制に一定の効果があるため、設置数が増加する事により治水安全度の向上が期待できる。									
	課題 (できなかったこと)	ホームページ、市民だより等でPRを行っており、問合せ及び設置件数は増加傾向にあるが、まだまだ市民への周知が充分になされていないと思えるので、更なる啓発活動を継続していく。									
V	指標名称(単位)		実績値			目標値					
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度				
	活動指標	雨水貯留浸透施設の年間設置数(件)	42	41	30	50	50				
	指標										
	他市との比較検証	雨水貯留浸透施設補助制度は県内にも多くの自治体を実施している。 岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、東海市、大府市、知立市、高浜市、東郷町、東浦町ほか23市町									
C 事 業 コ ス ト	単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳				
	事業費①		1,243	1,381	672	1,500	合計	671,600円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金	671,600円			
		一般財源	1,243	1,381	672	1,500					
	職員人件費②		2,871	2,122	1,403	733					
	総事業費(①+②)		4,114	3,503	2,075	2,233					
建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称						
	25年度迄の累積事業費		0								
	27年度以降の事業費見込		0								

会計名			吹戸池排水路整備事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	雨水対策課		
款	項	目					担当係	工務係		
8	3	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	河川・池沼							
		施策の内容	河川の改修							
	目的	一里山町砂山地内より吹戸池まで雨水管を埋設することにより、市道1-337号線で発生している道路冠水の解消を図る。	主たる内容	吹戸池排水路新設 一里山町他 工事延長 970m ボックスカルバート工 700×700~1100×1100						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者	市民	事業期間	平成25年度 ~ 平成27年度						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		_____		_____		管渠詳細設計 1式		(H25繰越分) 管渠詳細設計 1式 (H26契約分) 排水路新設工事 工事延長 722m		
成果 (できたこと)		浸水被害の解消のための施設の詳細設計に着手した。								
課題 (できなかったこと)		詳細設計を完成させ、整備計画に基づき工事を施工していく。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標		排水路整備率(%)			—	—	—	74	100	
指標										
他市との 比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	3,000	202,250	合計		3,000,000 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	委託料			3,000,000 円
		一般財源	0	0	3,000	202,250				
	職員人件費 ②		0	0	701	3,004				
	総事業費(①+②)		0	0	3,701	205,254				
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		285,250		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		3,000								
27年度以降の事業費見込		80,000								

会計名			農業用施設災害復旧事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	工務係	
11	2	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防災						
		施策の内容	災害に強いまちづくり						
	目的	災害により被害を受けた農業用排水施設の復旧を図り、市民生活の利便性・安全性を確保する。	主たる内容	災害復旧工事 災害復旧用資材購入費					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民	事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		実績なし		実績なし		災害復旧工事 小垣江町 工事延長 32m 張コンクリート工 32m フェンス工 32m		災害発生時には速やかに事業を実施する	
成果 (できたこと)		平成25年8月6日の豪雨により被災した折戸川排水路の法面の復旧を行った。							
課題 (できなかったこと)		災害が発生した場合には、迅速に対応できるように準備を怠らないよう努める必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果 指標		被災箇所復旧率(%)			—	—	100	—	—
指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,987	2,500	合計	1,986,600 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,986,600 円	
		一般財源	0	0	1,987	2,500			
	職員人件費 ②		0	0	701	440			
	総事業費(①+②)		0	0	2,688	2,940			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			河川災害復旧事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	雨水対策課	
款	項	目					担当係	工務係	
11	3	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防災						
		施策の内容	災害に強いまちづくり						
	目的	災害により被害を受けた河川等の復旧を図り、市民の利便性・安全性を確保する。	主たる内容	災害復旧工事					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		実績なし		実績なし		災害復旧工事 小垣江町 工事延長 26m 矢板護岸工 41m 護床工 1式		災害発生時には速やかに事業を実施する。	
成果 (できたこと)		平成25年8月6日の豪雨により被災した、準用河川折戸川の護岸等の復旧を行った。							
課題 (できなかったこと)		災害が発生した場合には、迅速に対応できるように準備を怠らないよう努める必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果 指標		被災箇所復旧率(%)			—	—	100	—	—
指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	28,286	21,000	合計	28,285,950 円	
	財 源	特定財源	0	0	15,703	0	工事請負費	28,285,950 円	
		一般財源	0	0	12,583	21,000			
	職員人件費 ②		0	0	1,753	440			
	総事業費(①+②)		0	0	30,039	21,440			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
		25年度迄の累積事業費		0		公共土木施設災害復旧事業費 国庫負担金(国)			
27年度以降の事業費見込		0							